



仏教学部 仏教学科

# 仏教文化遺産コース

FACULTY OF BUDDHIST STUDIES  
DEPARTMENT OF BUDDHIST STUDIES  
BUDDHIST CULTURAL HERITAGE COURSE

学びのキーワード

仏教学

美術史学

文化財学

## 最新テクノロジーで、仏教文化遺産の魅力に迫る。

仏教を中心とした文化遺産に関する幅広い知識を身につけ、最新テクノロジーを活用し、新しい分野を切り開く意欲のある人。最新テクノロジーによって保存・表現し、人々の心に伝えていくため、仏教学科と歴史学科が連携し、2023年度「仏教文化遺産コース」を開設します。このコースでは、国内外で調査・検証のフィールドワークを展開しながら、仏教が生み出した建築や芸術、芸能、文芸など、日本の文化に影響を与えてきた仏教文化遺産を研究します。仏教学科、歴史学科の教員に加え、多様なフィールドワークを行いながら、各地の寺院関係者、博物館、地域有識者、事業家など「さまざまな人から学ぶこと」を重視しています。

### TOPICS

## 学びの最前線



大正大学の設立宗派をはじめ全国に広がる関連寺院ネットワーク、そして文化財・考古学コースを有する歴史学科のカリキュラムが融合して生まれたのが「仏教文化遺産コース」です。このコースでは、地域別、分野別の多彩なフィールドワークを「学び」の中心に配置しています。仏教学科の「学び」を刷新し、大正大学ならではの仏教文化教育を展開します。



「仏教美術入門A」では、日本の仏教文化を理解することを目的に、仏教絵画を通して仏教美術の基礎の修得をめざします。「仏教文化フィールドワーク」では、主として古都である京都を中心にフィールドワークを展開します。実際に文化財や技術を見学することで見聞を深めることを目的としています。

### 仏教文化遺産コースの魅力

## 仏教が生み出した文化を 多角的に学ぶ

仏教学科  
中村 夏葉 専任講師



美術・工芸・史跡・建築といった文化遺産を学ぶことができる大学は多くありますが、大正大学でそれを学ぶ魅力は、伝統ある仏教学科の中で学ぶことができる点にあります。このコースでは、仏教そのものを基礎からさまざまに学びながら、実際の文化遺産については、フィールドワークのほか仏像・仏画の制作体験を通して動的に学んでいきます。こうした学びから、信仰に根ざした仏教文化をとらえる豊かな感性を育てると共に、新たな文化の担い手となるための幅広い教養と専門性を身につけることをめざしていきます。

## こんなキミに学んでほしい

- 仏教学・美術史学・文化財学など幅広い専門分野から学びたい人
- 最新技術を駆使し、設立四宗派と時宗がもつ文化遺産から学びたい人
- 京都・奈良などを中心としたフィールドワークから学びたい人


<https://www.tais.ac.jp/faculty/syllabus/>

<https://www.tais.ac.jp/chinavi/>


## 仏教学部 仏教学科 仏教文化遺産コース

このコースでは、仏教学科、歴史学科の教員に加え、国内外で多様なフィールドワークを行いながら、各地の寺院関係者、博物館、資料館、地域有識者、事業家など「さまざまな人から学ぶこと」を重視しています。

### 学びの内容

- 1 日本人の精神文化と仏教思想
- 2 仏教文化遺産の学術的探究
- 3 文化遺産の保存と地域開発・地域活性化
- 4 仏教文化産業とアントレプレナーシップ（起業家精神）

### TIME SCHEDULE

- 2022.4 仏教学科刷新新カリキュラム始動
- 2023.4 「仏教文化遺産コース」開設  
京都市内にサテライトキャンパス「京都アカデミア（仮）」を開設。京都地区、奈良地区を中心とした近畿地方の文化遺産探訪フィールドワークの活動拠点となります。各地区の伝統工芸職人や日本文化に精通した文化人による特別ワークショップを展開します。
- 2026.4 大正大学キャンパス内に創立100周年を記念した「仏教文化遺産バーチャルミュージアム（仮）」を開設。学生たちが調査・収集した文化遺産、海外遺跡をバーチャルリアリティなどデジタル技術で再現、展示します。

### 研究対象（例）

仏教遺跡／寺院建築／寺院庭園／仏像彫刻／仏教絵画／仏教書跡／  
仏教工芸／伝統芸能／伝統工芸／茶道／華道／書道／説法 ほか

### 想定される進路

地方官公庁／文化事業者／観光業者／寺院関連業／仏教関連団体職員／地方  
マスメディア／文筆業／学校教員／NPO・NGO／学術研究者／学芸員 ほか

## 仏教学科の関連寺院 × 歴史学科の史料探究カリキュラムが融合

### 国内外の各地で文化遺産を調査・研究する多彩なフィールドワークを展開します

大正大学の設立宗派をはじめ全国に広がる関連寺院ネットワーク、そして文化財・考古学コースを有する歴史学科のカリキュラムが融合して生まれたのが「仏教文化遺産コース」です。このコースでは、地域別、分野別の多彩なフィールドワークを「学び」の中心に配置。さらに、フィールドワークの成果をバーチャルミュージアムに展示するワークショップを行います。仏教学科の「学び」を刷新し、大正大学ならではの仏教文化教育を展開します。



大本山 増上寺大殿と三大蔵  
(ユネスコ『世界の記憶』への推薦決定)



国内最高峰の絵巻・国宝  
『一遍聖絵』を最新技術で研究

## 仏教文化遺産の街「京都」「奈良」でフィールドワークを展開します

### 世界文化遺産と語らい 「文化の都」を学ぶ

794年、平安京に遷都したことに始まる千年の都。金閣寺や清水寺などは世界文化遺産にも登録されています。さまざまな寺院のほか、仏像や仏画、仏教に関連する各種の事物などを有する「文化の都」でフィールドワークを行います。

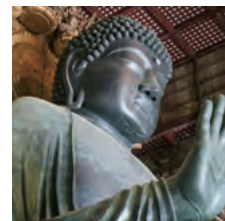
#### 京都フィールドワーク



### シルクロードにつながる 太古の国際都市を探訪

平城京が置かれ、シルクロードの終着点として国際色豊かな天平文化が開いた奈良。日本最多の国宝建造物を有するほか、古事記、日本書紀、万葉集、風土記など、最古の史書や歌集が編纂された都市を探訪し、日本の文化を考察します。

#### 奈良フィールドワーク



海外フィールドワークの実施を検討しています

### ● 海外フィールドワーク（希望者）

インド、中国などの仏教遺産の探訪、研修旅行を予定しています。

想定される  
フィールドワーク先

●インド ●中国 ●韓国 ●台湾 ほか  
各自の研究テーマに合わせた  
フィールドワークが可能です。